



梅田中だより

<第1号>

令和2年度が始まりました

この4月より学校長として赴任しました阿部誠二と申します。豊かな自然環境に恵まれた梅田地区で生徒たちの力を伸ばせるよう66名の生徒一人一人を全教職員で育てていこうという考えで努力をし、子供たちが安心して「学びたい・通いたい学校」、保護者が「託したい・通わせたい学校」、地域の方々が「応援したい学校」、そしてわれわれ教職員が、「働きたい・やりがいのある学校」を目指して教職員一同で地域に根ざした学校づくりに精進したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、校内の消毒や、生徒の手洗い・うがい、そしてマスクの着用等、様々な対策を学校でもとらせていただいております。4月7日(火)に学校が再開され、やっと落ち着いて通常通りの学校活動が送れるかと思っていた矢先に、改めて4月13日(月)より5月10日(日)までの臨時休校の通知が届き、残念でなりません。

しかし、今の我慢が感染者数の減少と何よりも、生徒、そして保護者の皆様の命を守ることに繋がると考え、保護者の皆様に今回の休校の連絡をさせていただきました。一刻も早く、この現状がよい方向に変わっていくことを切に願っています。

入学式

4月7日(火)、地域のご来賓の方々や保護者の皆様に温かく見守られながら、入学式が挙



行されました。今年の新入生19名を代表して、大西 彩弥(おおにし あやね)さんが「小学校では、言われたことをこなせるようにしてきましたが、中学校ではそれにプラスして自分の考えや目標をもって進んでいきたいと思っています。」という力強い誓いの言葉を述べてくれました。どの生徒も、担任の先生から名前を呼ばれると、しっかりと返事をする事ができ、とてもすばらしい態度で、この節目を迎えることができました。ぜひ、梅田中学校での3年間の生活の中で、先輩や仲間との交流をとおして、将来の自分探しをしていってほしいと思います。



始業式

Where there's a will, there's a way. 意思あるところに道は開ける。

この言葉は、アメリカ合衆国第16代大統領、リンカーンが残した言葉です。始業式の挨拶の中で生徒の皆さんに話をさせていただきました。誰にとっても、明日の希望や未来を夢見て努力することが大切であり、決してくじけることなく貫き通すことに意義があるということ述べたものです。現在、先行きが不透明で、一体どうなってしまうのかよくわからず、不安に思うことが多い世の中となっております。しかし、このような時こそ、希望や夢をもち、努力しようとする気持ちが大切になると考えます。

新年度を迎えた梅田中学校の生徒の皆さんに、今年目標を持ち、どうすればその目標を達成できるかを考え、くじけそうになったときにはあきらめずに最後まで取り組むように話しました。毎日、コツコツ努力するのは大変なことですが、この努力がやがて大きな成果へとつながっていきますので、学校と一緒にお子様を励ましていただければ幸いです。